

現場・市民 目線で市政チェック。 「いいね！」あふれる大和に。

令和3年春号
vol.025
3月議会の報告

おだひろし 大和市議会議員 元産経新聞記者

小田博士の 市政かわら版



3月議会

コロナ禍の影響じわり 引地台プール 1年休館に

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うコロナ禍の発生から1年あまりが経過しました。大和市議会3月定例会の一般質問では、本市の感染状況や対策の成果を総括的に確認し、一定の検証を試みました。

本定例会では引地台温水プールなどを4月から1年間停止する条例改正案が賛成多数で可決されました。このプールはコロナ禍以前は年間17



万人超が利用していました。市は「感染状況に応じた開け閉めが難しい」と説明しますが、他のイベントに対する委縮効果やプールに対する風評被害を招きかねず、健康増進の機会を奪うことにもつながります。

私は一般質問と討論で問題点を指摘したうえで、再開後に客足が遠のかないようキャンペーン開催を要請しました。

一般質問の要旨

【コロナ禍の検証】

A. リバウンドの懸念、変異株の発生が報じられている。国や県と異なり、本市の役割は極めて限定的だが、市民のために必要なことは何か常に考え、スピード感をもって実行に移してきた。

Q. 県内他自治体と比べて本市の感染率は高いが、どう評価するか？

A. 人口密度が県内で2番目に高いことや交通利便性が高いことなどの要因が考えられるが、確たることは申し上げにくい。

Q. 来年度予算編成への影響は？

A. コロナ禍で歳入の規模の把握

が難しくなったが、健全財政を維持する強い覚悟で臨む。

Q. 私権制限に対する考えは？

A. 罹患者や事業者に対する制限等は感染症対策のためにやむをえない場合もあるが、慎重かつ適切に行われるべきと捉えている。

Q. 市内で発生したクラスターの件数や箇所数は？

A. 神奈川県から情報提供はなく、報道以上の情報は知り得ない。

Q. 学校や病院も含めた職員の感染者数は？

A. 2月末までの累計で23人。

Q. 市内経済の現状認識は？

A. まだ不安定な状況が続くと捉えている。新年度からは、デリバリーを後押しする支援事業も始める。

Q. 妊娠届出数の推移は？

A. 平成28年2152件、29年2143件、30年2030件、令和元年1876件、2年1872件で減少傾向にある。昨年は1～3月に10.1%増えたが、緊急事態宣言が出た4月から12月は3.7%減少した。

Q. 自殺者の推移は？

A. 警察庁統計では平成28年38人、29年42人、30年31人、令和元年32人、2年は速報値で38人である。

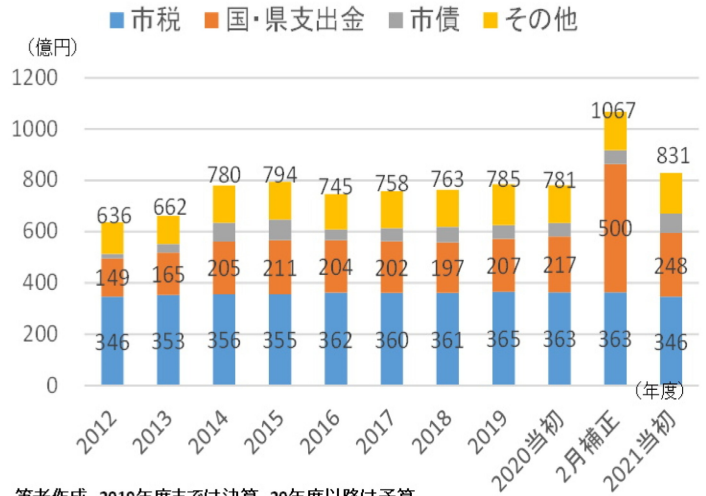
＝裏面に続く

厳しさ増す市財政 事業圧迫

[表面から続く]

- Q. 昨年のシリアスの来館者数は？
A. 139万5272人で前年に比べ56.8%の減少である。
- Q. 次亜塩素酸水の配布状況等は？
A. 市内公共施設用は現在も物品等の除菌用に配布を継続している。市内在住者については6月までのべ14万3215人に計7万1607ℓを配布した。
- Q. 市医師会などと連携したPCR検査の状況は？
A. 市医師会によれば、「2月末時点で検査数は累計1380人、うち陽性者は80人」とのことだ。
- Q. 市内事業者に対して独自に上乗せ支給した雇用維持給付金の実績は？
A. 50万円支給が133件、20万円支給が882件である。
- Q. 市立病院のコロナ病床数と占床率は？
A. 成人用に14床、小児及び妊産婦用に4床を確保。2月までの平均占床率は66.2%となっている。
- Q. 市立病院への寄付金総額は？
A. 2月までの実績は461件、1885万円である。
- Q. 小中一斉休校中の読書支援の貸出実績は？
A. 昨年4～6月に1万4000冊超の本を貸し出した。
- Q. 市内イベントや公共施設開館の考え方は？
A. 感染予防の徹底をはかりながら、安心かつ安全

一般会計 歳入の推移(大和市)



に参加できる環境を整える。

- Q. 市民まつりなど大規模イベントの予定は？
A. 「4月の2つの桜まつり、5月の市民まつり、春の中央林間マルシェは中止。骨董市は感染症を見定めて再開時期を決定する」と聞いている。阿波踊り、よさこいは現時点で報告を受けていない。

Topics

インターンの大学生受け入れ

議員などのインターンシップを運営するNPO法人「ドットジェイピー」から話があり、3月までの2カ月間、大学1年生2人のインターンを受け入れました。

社会体験をしてもらうことを目的として街頭活



動、駅頭活動、ポスティングや市議会傍聴、国会見学などを経験してもらいました。学生さんの成

長の糧になったとすれば、望外の喜びです。

公共経営を研究 早大院を修了

早稲田大学大学院政治学研究科を3月に修了し、公共経営修士(専門職)の学位を取得しました。

地方自治、公共経営や社会保障、安全保障、統計、交渉理論、経済学な

どを学習。自身の研究テーマとして、地方議会活性化のモデル構築(チーム議会)に向けた論文をまとめました。

コロナ禍が直撃したためオンライン授業の1年間になってしまいましたが、その分、じっくりと取り組みました。学んだことは、市政にしっかり活かしていきます。

◆プロフィール

大和市議会議員(2期目)

昭和50年1月生まれ

大和市出身/福田在住

西鶴間小学校、南林間中学校

中央大学附属高校、上智大学経済学部卒

早稲田大学大学院政治学研究科修了

(公共経営修士、専門職)

◆産経新聞記者(16年間)当時の職歴

整理部→千葉総局→社会部→政治部

◆資格・特技 防災士、居合道3段

【6月議会】

大和市議会の令和3年6月第2回定例会は6月1日から6月25日まで25日間の日程で開催されます。一般質問は6月18、21、22日の予定です。これに先立って、5月7日には臨時会も開かれます。

◆市議としての役職(令和2年5月～)

環境建設常任委員会委員長

基地対策特別委員会委員

相模原二ツ塚線及び水窪座間線建設促進協議会委員

◆その他の主な活動

自民党大和市連合支部

政調会長、広報局長

自民党神奈川県連

市町村議員協議会幹事

大和中央シティライオンズクラブ

隊友会、金毘羅神社神輿会

HPIはこちらから↓



大和市議 小田博士 〒242-0024 大和市福田5690-1-601

(TEL) 046-206-5567 (FAX) 046-206-4288 (MAIL) h-oda@nifty.com

小田博士 検索

このレポートは政務活動費を使用していません。

